

地震防災のキーワード —耐震化と情報化—

関東大震災から100年を経て、防災に関する様々な変化が見られます。特に、都市や建物の耐震化が進み、また、インターネットの普及により防災分野の情報化が進展しました。そこで、耐震化と情報化をキーワードに、それぞれの分野の専門家からお話を伺い、今後の地震防災について考えます。

日時：2024年2月23日〔金(祝)〕13:00 ▶ 16:30

定員：会場200名 + オンライン100名 (※オンライン参加は日本建築学会会員のみ)

参加費：無料 [事前申込制] ※左のQRコードよりお申込み下さい

建築 CPD
対象プログラム

場所：穂の国とよはし芸術劇場 PLAT アートスペース
愛知県豊橋市西小田原町123番地 豊橋駅南口から徒歩5分

お問合せ：豊橋技術科学大学 安全安心地域共創リサーチセンター
Email : carm@office.tut.ac.jp Tel : 0532-81-5157

12:30 開場

13:00 開会挨拶 寺嶋 一彦 豊橋技術科学大学長
趣旨説明 齊藤 大樹 豊橋技術科学大学 安全安心地域共創リサーチセンター長

13:15 基調講演 1 福和 伸夫 名古屋大学名誉教授
耐震化 温故知新で 南海トラフ地震 を考える
基調講演 2 白田 裕一郎 防災科学技術研究所 総合防災情報センター長
情報化 DXによる これからの防災

15:15 休憩

15:30 パネルディスカッション

16:30 閉会挨拶 能島 暢呂 岐阜大学 地域減災研究センター長